

採れたて!!

わかごぼうのニュース

No.99

発行 2022年6月
八尾市パーソナルサポートセンター
大阪府八尾市本町 1-4-1-201
TEL:072-999-7900

八尾の歴史を振り返る



初夏の暑さと梅雨の湿気が大阪に迫りくる前に、今年初めての外出企画をしてきました。

行き先は八尾市内にあります。八尾の変遷を知ることが出来る「八尾市民俗資料館」と中河内では最大の前方後円墳心合寺山古墳の二か所です。

当日、天候に恵まれてとても良い外出日和となりました。

お昼前にメンバー達と集合し、駅前にある大型ショッピングモールのフードコートで昼食を取ってから民俗資料館に向かいます。みんなで食事をすることでメンバー同士の親睦も深まるかなと思っていたのですが、皆バラバラの席に座って昼食を取っていました。(しっかり感染対策されているのに…昼前に集まった意味とは?)

話を戻しまして、民俗資料館への道のりは近鉄八尾駅から電車を一本乗り継ぎ一駅乗車するだけで最寄り駅に到着するほど近くにありますが、ただ目的地が山麓にあるため資料館の最寄り駅から勾配のある山道を十分ほど歩きました。くたくたです。

両脇に民家と畑が並び中にほんとは少し大きな館が、ここが今回の目的地八尾市民俗資料館です。民俗資料館の中は八尾市内にある八十を超える遺跡から掘り起こされた出土品が展示されていたり、江戸時代から明治時代にかけて河内地方で広く栽培されていた綿を紡ぐための糸車の模型や八尾市久宝寺にある浄土真宗本願寺派の寺院願証寺にまつわる古文書。近代史になると物づくりの街として栄える一端を担った八尾の歯ブラシ等が展示されていました。

参加したメンバー達は「めっちゃめっちゃ面白かったです。大満足です。」「大阪が2万年前までは湖に沈んでいた事を初めて知った。」「自分が住んでいる地域も沈んでいた。」「いつかまた自分の住んでいる地域が沈むのかと思うと、これだけ人間が作り上げた文化が湖に沈むことを阻止できるのだろうか」と話していました。

《次号へ続く》



わかごぼうは

失敗できる場所

家とは違う場所へ出かけた。でもいきなりは不安。お話できなくても一緒に過ごしてみよう。失敗しても構いません。そこからたくさんのことを学べるから。

脇芽のトマトを移植する

トマトとピーマンの種を植えてから約1カ月残念ながらピーマンは発芽することがありませんでしたが、トマトはしっかりと発芽しました。5月の中旬にもなると、脇芽もしっかりと成長していましたので、脇芽は除去せずに株分けをして畝の別箇所に移植しました。メンバー達は移植を初めての体験だからでしょうか、皆おっかなびっくり作業していました。無事に移植することは出来ました。あとは定着することを祈るだけです。



トマトだらけになるぞ



トマトの勢力圏を広げろ!

八尾市社会的居場所事業

わかごぼうに
来ませんか?

☆参加対象になる方

- ◇社会参加を望みながら不安を感じている方
- ◇これからの自分を考えたい
- 家族以外の人との関わりが薄い方
- ※また、その方のご家族・親族の方もご相談いただけます。(込み合う場合がございますのでご予約下さい。)

今を変えたいけど、どうしたらいいのかわからない。そんなあなたに答えるための社会的居場所です。



開催時間: 毎週木曜日 14:00-16:00
開催場所: わかごぼう
八尾市南本町7-6-23
※JR八尾駅から徒歩15分なので自転車推奨

お問い合わせ & 参加申込み
電話: 072-992-6921
電話受付時間: 9:00-17:00 (祝日除く月~金)

オンライン面談始めました。
詳しくはこちら



ウラもあるよ

8x8マスで行った3つ巴の戦い

読者のあなたはリバーシで遊んだことはありませんか？

リバーシと言えば普通2人で遊ぶものだとは思いますが、昔から長く愛されて遊ばれているゲームなだけあって1人〜4人で遊べるように改良されて作られたリバーシが居場所にあるので親睦もかねて3人でリバーシをして遊ぶことにしました。

定番の白色と黒色2色のほか赤色と青色の2色を含めた4色の駒を使い遊びます。それぞれ自分が使う駒の色を選びパチパチと駒を置いて挟んだ駒を自分の色に塗り替えていきます。2人でやるリバーシなら、自分が打って相手が打ってと次の手を考える余裕もありますし相手の手も読むこともできるでしょうが、3人打ちにもなると自分が打って、相手が打って、もう一人が打ってと打ち筋を一手多く考えなければならず脳が疲れて

しまい凡ミスも出やすくなります。今回のゲーム序盤では皆考えながら打ち続けて各々の持ち駒も拮抗していきました。しかし、終盤まで頭を使い続けていたメンバーに疲れが見え始めた頃、終盤まで有利に進めていた青色が一手で白色にひっくり返されて大逆転が起き、見事最後には白色が勝利を収めました。最後まで打ち筋を読み切った白色メンバーはこの一戦を振り返り3人でリバーシの感想戦を行っていました。どうやら2人にはうまく伝わらなかつたようです。



めちやくちやテッドヒートを繰り返していましたが、これ親睦深まりました？

わかごぼうニュース編集

わかごぼうでは、毎月参加者が企画した活動内容を参加者自身でコンテンツにしたニュースを編集して発信しています。



是非次号もご覧ください

文字のない絵本を読む

題材はガブリエル・バンサン作「たまご」

一人の男が見つけたとても大きく大きい卵、男は見つけたこの大きな卵の存在を多くの人に知らしめた。大きな卵の存在を知った人々の興味は留まる事を知らず、やがて卵に人々が集まり卵の周りに町を作り始めた。町は発展していき、卵を見物に来る人の数もどんどん増えていく。そうやって目覚ましい発展をしていたある日、大嵐が吹き荒れると共に黒い黒い雲の向こうから大きな大きな鳥が一羽卵に向かつて飛んでくる。それは親鳥だった。親鳥は大切な卵の周りに群がっている人々を追い払い卵を温め始めた。卵を温め終えた親鳥は突然何処かへ飛び去った。飛び去ってから間もなく卵にひびが入り、大きな卵から大きなひな鳥が顔を出した。その姿を追い払われた人々が遠巻きに様子を伺っている。ひな鳥は親鳥の姿を泣きながら探し始める。遠巻きに見ていただけの人々は恐怖からかひな鳥を殺害する。人々は恐怖を乗り越えたとしても言わんばかりに息絶えたひな鳥を磔にした。親鳥が卵の様子を見に戻ってくる。そこには磔にされた自分の子供の姿があった。ここまでの物語なら、人は欲や恐怖からいくらかでも残酷で歪になる事を表現しているのかなと思つたのですが、あと一ページ物語が残っています。最後のページでは迫力のある眼つきでこちらを睨む親鳥と多くの鳥たちが卵を産み飛び去っていくページでこの物語は幕を閉じます。この最後のページを見て感じるものは、あの親鳥はひな鳥を殺されたことを忘れておらず、人々に対する怨恨を途切れさせないようにな代々受け継いでいる子どもたちなのかなと思えました。恐怖からひな鳥を殺した人々は一時の安寧を得ていますが、復讐を忘れない鳥たちがいづれまた恐怖を携え争いが始まる事を予感させる終わり方でした。

読者のあなたも一度読んでみて、私が読んで思い描いた物語とあなたが読んで描いた物語との違いをぜひ教えてください。

嫌と苦手は雲泥の差

6月。居場所からステップアップしてB型作業所の利用を初めた人がいます。どんな形でも新たな事に挑戦する事は緊張と不安に襲われます。彼女自身新たな事に挑戦する事に不安感じて、体調を崩しわかごぼうも休みがちになりました。それでも新たなステップに進むため不安と対峙しながら、前に進まんとする姿は彼女の助けをしている周りの人々に勇気を与えていた事でしょう。そんな一皮むけた彼女に少し話しを聞いて見ました。

めっちゃ小さい釘を穴に外れないようにグイッと、はめ込む作業があった。小さい穴にはめ込むのがやりづらかった。小さすぎてはめ込めているのか分からず何回も見直して作業してた。

なるほど。やりづらかったのか。彼女の強い所はここだと思えます。「やりづらい」「難しかった」「苦手」とは言うのですが、「嫌」「やりたくない」「ムリ」は、彼女自身ががよっぽどしんどい時が苦痛な時にしか言わず、わかごぼうの活動の中でも「やりづらい」「難しい」と言いながらしつかり作業していました。もちろん出来ない事は出来ないとはっきり発言することはとても重要ですが、やる前に出来ない理由を探すより、やってみて出来た理由を探して次に生かす事が次のステップにステップアップ出来る要素なのでしょうね。

わかごぼう



来月のわかごぼうは、複雑なルールを理解して遊ぶボードゲーム「DOS」飛ばされた地点の風景から現在地を当てられるか「ジオゲッサー」10m離れて落とさず連続五十回成功させる「キャッチボール」等を予定しています。もちろんいつものボランティアやテーマトークもありますよ。

みんな似ている。ひとりにはよくない。つながる力を身に着けよう。社会的居場所わかごぼう新規参加者募集中です。